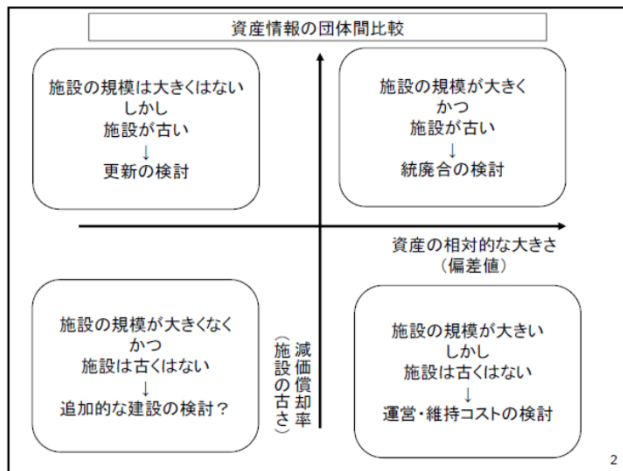


地方公会計の活用

平成29年度より本格導入となる地方公会計制度のポイントとなるストック情報の有効活用を研究し実践

県内市町において固定資産台帳を活用し、各団体の資産の特徴や今後優先的に整備又は長寿命化を検討すべき資産等を明確に把握できる手法を開発し、市町に普及を進めている。



「固定資産台帳」の分析

- 資産の大きさ（1人あたり取得金額）
 - 資産の古さ（減価償却率）
- 分野別比較・市町別比較
→ 保有資産の特徴を把握

固定資産情報の活用の実践

- 資産管理方針の策定
- 当初予算の調整の指針

- 税収が減少し扶助費が増加する中で、
- 優先的に整備・長寿命化する資産を決定
 - 長期収支の策定
 - 推進する施策の決定

【地方公会計制度とは】

発生主義・複式簿記（企業会計）を取り入れ、資産・債務の適切な管理、財務書類の分かりやすい開示を行い、現行の現金主義・単式簿記（官庁会計）を補完するもの

【固定資産台帳とは】

自治体が所有する道路、公園、学校などの全ての固定資産について、取得原価、耐用年数等のデータを記載したもの

富国有徳の理想郷－しずおか

ふじのくに

